東部地域牛受精卵移植技術研修会を開催

柳井農林事務所
平成23年３月28日

東部地域の牛受精卵移植技術研修会が３月23日に柳井市の齋藤牧場で開催されました。
今年度で４回目になるこの地域研修会ですが、今回の参加者は講師を含めて21名と最も多くなりました。
同期化しておいた牛を用い直腸検査による黄体の出来を確認した後、今回は超音波画像診断装置（エコー）を用いて移植可能な牛かどうかの判定を行ないました。
普段は触知のみで移植の可否の判定を行ないますが、エコーを用いることにより、より正確な診断ができ、参加者も触覚と視覚のすり合わせが出来たのではないでしょうか。
最後に新型移植器「モ４号」を用いて、１頭に実際に移植をしました。一同受胎することを願っています。

と畜子宮を用いた移植技術確認

超音波画像診断装置による確認